

# 寺社Now

www.jisya-now.com

寺社の“いま”を伝える情報誌

vol.15

## クローズアップ

真宗大谷派 難波別院(南御堂) 輪番

宮浦 一郎

## INTERVIEW

「臨床宗教師」

平田神社 権禰宜

池内 龍太郎

曹洞宗円通山普門寺 副住職

高橋 悦堂

## 巻頭特集

開かれた寺づくりで  
信仰、観光、自然の未来をつくる

吉田 正裕

宮島弥山 大本山大聖院 座主





マンション



商業施設



賃貸住宅  
「シャーメゾン」



## 積水ハウスの 土地活用

オフィス



高齢者向け  
住宅



クリニック



## 土地を活かす。地域が活きる。

土地活用とは、土地の価値を地域に活かすこと。積水ハウスは、住宅のリーディングカンパニーとして培ってきた総合力で土地の可能性を引き出してきました。入居者の多様なニーズに対応する賃貸住宅「シャーメゾン」や高級感あふれる中高層マンション、時代が求める高齢者向け住宅など、地域貢献につながる土地活用を積水ハウスがご提案します。



積水ハウス株式会社 大阪特建支店

〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-93 梅田スカイビルガーデンシックス4F



特建くん  
©積水ハウス2005

土地活用に関するご質問やご相談についてもお気軽にどうぞ。



0120-131-470

大阪特建支店

検索

資料をご希望の方は、フリーダイヤルでご請求ください。  
ホームページからもお申し込みいただけます。



積水ハウスの賃貸住宅  
「シャーメゾン」総合カタログ



積水ハウス大阪特建支店 実例集  
[Best Solutions]

巻頭特集

02 開かれた寺づくりで  
信仰、観光、自然の未来をつくる

宮島弥山 大本山大聖院 座主

吉田 正裕

12 クローズアップ  
老朽化・耐震性の問題を有す「御堂会館」  
新たな時代にマッチした“伝道会館”へ  
真宗大谷派 難波別院(南御堂) 輪番

宮浦 一郎

20 「臨床宗教師」  
宗教宗派の枠を超え  
終末期の患者の心をケアする宗教者

平田神社 権禰宜

曹洞宗円通山普門寺 副住職

池内 龍太郎 / 高橋 悦堂

06 寺社の夏の行事お役立ち  
環境対策機器

08 **トピックス**  
全国どこでも使える災害救援アプリ

10 **うちのお宝**  
圓龍寺 薬師如来像と十二神将立像  
日吉山王神社 日吉山王神社本殿

14 **Pick Up**  
『フェリシモおてらぶ』で  
寺との“縁”をつなぐ

16 **SCOPE**  
全日本社寺観光連盟  
外国人インターンメンバー紹介  
外国人ならではの目線で  
社寺の魅力を再発掘!!

17 **行政・観光レポート**  
茨城大学と県国際観光課が連携  
留学生による『茨城の魅力発見ツアー』  
で社寺が人気

18 **EVENT REPORT**  
三宝院門跡大峯山花供入峰  
大阪～奈良の街中を行く山伏たち  
地域とのつながりで、復活から続いた  
1世紀

24 **野田博明 風まかせ 15**  
「三柱鳥居の話が・・・風に吹かれて」

26 **職人技**  
職藝学院教授 上野幸夫







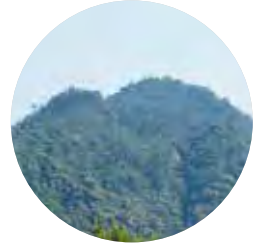
大聖院の  
十一面観音菩薩



観光客向けのお店が  
立ち並ぶ宮島



宮島の中央部にある弥山みせん



## 巻頭特集

# 開かれた寺づくりで 信仰、観光、自然の未来をつくる

明治維新までは12坊の末寺を有し厳島神社の別当寺として祭祀を行っていた

真言宗御室派・大本山大聖院だいしょういん(広島県・宮島)。

『平清盛公生誕900年前年祭』の会場になるなど

宮島の地域振興に精力的に取り組んでおられます。

大聖院の吉田正裕座主よしだしょうゆうに、お寺が地域で果たす役割や

少子高齢化が進む中での信仰の継承などについてお聞きました。

**吉田座主** 大聖院では、先代の頃から「開かれたお寺づくり」に取り組んできました。広大な土地にさまざまな施設を持ち、裏には手つかずの自然が残る弥山みせんという山も抱えています。信仰と健康と観光という「三まこう」を大切に、お寺をより多くの方に使っていただけるようにオープンにしています。

**吉田座主** 毎月1日の「宮島ついで市」は、雑貨・アート・手作り品・古本市です。出店者の方からの要望で、3月〜12月初旬の

**イベントは皆様と  
ご縁を結ぶ貴重な機会**

**編集部** 2018(平成30)年に平清盛公生誕900年を迎えるにあたり、大聖院様は「平清盛公生誕900年前年祭」の会場となるとお聞きしました。その内容をお聞かせください。

貢献ができるならばと宮島観光協会の副会長を務めさせていただいています。観光協会の活動の中で、来年の『平清盛公生誕900年』へ向け、今年の前年祭実行委員会を立ち上げました。大聖院では恒例行事の内容を膨らませて、修行体験や平家納経の内容を勉強する会、新たに奉納コンサートも実施しています。



来年迎える『平清盛公生誕900年』のロゴと、宮島の棧橋近くにある平清盛像





#### プロフィール

宮島弥山 大本山大聖院 座主  
よしだ しょうゆう  
**吉田 正裕**

1960 (昭和35) 年9月15日生まれ。種智院大学仏教学部卒業、仁和密教学院卒業。1984 (昭和59) 年から大聖院勤務。1990 (平成2) 年から高野山真言宗真光院住職、1998 (平成10) 年から大聖院座主。真言宗御室派宗会議員議長、一般社団法人宮島観光協会副会長、宮島弥山を守る会会長、三十三観音ネットワーク会議世話人、広島刑務所教諭師ほか

毎週土曜水曜にも「大聖院おかげさま市」も開催するようになりました。お寺に来られた方にも、出店される方にも喜んでいただいています。お寺に賑わいも生まれません。皆さんにとつていいことにつながっています。

私が住職になった約20年前、人口が減り少子高齢化が進んでいく中で、宗教離れへの危機感を感じ始めていました。今、檀家寺であっても家の中で信仰の継承がうまくいっているとはいえません。ましてや大聖院のような信者寺は個々の信仰によるものですから、それを子や孫に継承していくことはとても難しいことです。

信仰はすぐには浸透しません。早いうちからお寺との接点を持っていたために、子どもたちを対象にした体験道場「小坊主の会」や「宮島てらこや」などお寺を身近に感じていただく機会を設けました。境内には、子どもたちが喜ぶような丸くてかわいなお地藏様があちこちにいます。子どもたちが「お地藏様にまた会いたい」とお寺に来て、その子どもたちが大人になって大聖院にお参りしたことを思い出し、戻ってきてくださったらうれしいですね。イベントは若い方にお寺とご縁を結んでいただく機会ととらえていきます。お寺づくりは一人ではできません。ここに勤めるものには、開かれたお寺を目指していることを常に話し、その上で何ができるかを一緒に考えています。

#### 種をまいてこそ花が咲く 観光も信仰も同じ

**編集部** ある信者寺様が、「観光をきっかけにお寺に来ていただきたいが観光が信仰に繋がらない」とおっしゃっていました。一方で、観光に力を入れることに戸惑うお寺様もあると聞きます。

**吉田座主** 何が信仰なのかというのですが、私はお寺に来られるだけでも信仰心を持たれているのだと考えます。花は、種をまかなければ花を咲かせません。種をまいた後は水をやり、太陽の光を与え、養分を与えます。放っておくと枯れてしまいます。信者寺も同じ。きっかけは何だっているのです。まずは、お寺に来ていただく、つまり種をまいてこそまた帰ってきてくださるのです。

**編集部** 宮島は聖地のためお墓が作れず、お寺様は檀家寺ではなく信者寺として成り立ってきたとお聞きしていますが、近年、信仰と自然を守るために拝観料



摩尼殿の仏殿



境内にある愚痴聞き地藏



摩尼殿の内部



階段を登る海外からの参拝者

を検討するお寺様も増えてきて  
いるそうです。座主のお考えをお  
聞かせください。

**吉田座主** 大聖院は信者寺とし  
て、信者様自らがお布施、お賽銭  
をされることを基本とするため、  
拝観料は考えていません。建物  
を建てたり修理をする際には、お  
願いの文書をお配りすると皆様  
それぞれで気持ちよくご協力を  
くださいます。檀家割りもありません。  
ご協力をいただきやすい土地  
柄なのかもしれません。

今、宮島では入島税を検討し  
ています。厳島神社様は拝観料  
が必要ですが、それは「お金を  
払ってでも見たい」と日本の方も  
外国の方も納得されているから  
可能なのです。魅力のあるお寺、  
神社であれば、維持をする上で  
拝観料をいただくことはよいと思  
います。

**編集部** 宮島全体の観光客は昨  
年427万人と過去最高だったそ  
うですね。欧米人のインバウンド  
も増え、活気あふれる街という印  
象です。そんな中で、何か課題と  
して感じていらっしゃることはあ  
りますか。

**吉田座主** 宮島の観光客数は乗  
船客数でカウントしていますか

ら、かなり正確な数字です。1日  
1万人以上の方がこの狭い島に  
来られるとは、本当にありがたい  
ことです。

外国の方が増えたのは、厳島  
神社が世界文化遺産に登録され  
たこと、日仏交流150周年事  
業のポスターに厳島神社の大鳥  
居が起用されたり、フランスの  
モン・サン・ミシエルと観光友好  
都市提携を結んだことによつて、  
ヨーロッパでの認知度が高まりま  
した。また、昨年のオバマ大統領  
の広島訪問で、アメリカの方も増  
えました。

課題といえば、2005（平成  
17）年に宮島町が廿日市市と合  
併したとき、3つの目標を掲げ  
ました。観光客数を250万人  
から300万人に、滞在時間1、  
2時間を5時間に、そして宿泊  
客を増やすこと。客数と滞在時  
間は早く達成できたのですが、  
伸びていないのが宿泊客。団体  
客が減り、個人客が増えたため、  
部屋の稼働率は以前と同じでも  
宿泊人数は半分程度です。「宮  
島に泊まりたい」と思っていた  
けるように、鳥居と厳島神社以  
外の魅力を発信することが必要  
だと考えます。

欧米の方は、宮島に来たなら  
弥山に登らないと価値がないと、  
宿泊して弥山に登られますよ。

自然を愛する方が多く、マナー  
もとてもいいですね。

もう一つ、観光客数は増えてい  
ますが、住民は1600人と減つ  
ています。最も多い時で5000  
人いました。高齢化が進み、さま  
ざまな行事の世話役を引き継ぐ  
方がいないという問題も生まれて  
います。人口が少ないため、小学  
校も規模も小さくなっています。  
商店街は活気にあふれています  
が、ほとんどが島外からの通勤  
者。住人が少ないと町自体が成  
り立ちませんから、人口減は深刻  
な問題です。

宮島は「宮千軒」といわれ、  
建物は1000軒ほどで、国有  
地が多く建てる場所もあまりあ  
りません。建物を建てるにしても  
変更するにも規制が多く、島外  
ではすぐにできることが宮島では  
そうはいきません。看板の規制も  
あり、街を保存していくという観  
点では大切ですが、働きやすさ  
や住みやすさを考えると改善す  
べき点もあると思います。そこで  
今、宮島を特区申請しようとし  
ています。動きやすい環境づく  
りを進めています。

お寺は地域の方に支えられて  
います。お寺も住民の皆様の心  
のよりどころとして存在し続け  
るために努力しなければなりま  
せん。大聖院のことだけでなく、





各霊場会のパンフレット。百八観音霊場は、中国地方の鳥取県や島根県など全5県、四国は香川県から高知県まで全4県、九州は福岡県から熊本県までの北部5県を合わせて、全部で14県にわたる広域の寺が連携している

宮島全体、仏教界をよくしているという思いでの取り組みが必ずや要です。

### 寺同士が広域で連携 参拝者本位の霊場

編集部 宮島という範囲を超え、山陽路、九州や四国での霊場

づくりなど、広域連携にも取り組んでいらつしやるとお聞きしました。その目的は何でしょうか。

吉田座主 中国観音霊場、四国三十三観音霊場、九州西国霊場の3霊場が手を結び、日本で最初の「百八観音霊場」を立ち上げました。元々、観音霊場の全国的なネットワークを

つくるとういう

動きがありました

した。各霊場の

現状をお聞き

すると、あまり

よい状況ではな

いとのこと。四

国、九州にも声

をかけ「一緒に

広がりをもって

やりましょう」

と立ち上げた

のです。各霊場

の事務局をし

ていたお寺が大

聖院と同じ御

室派だったこと

も幸いでした。

そのほか、

来年で100

周年を迎える

「広島新四国

八十八ヶ所霊

場会」もあり

ますが、霊場ブームの落ち着きとともに巡拝する方が少なくなりました。「もっと多くの方に巡拝していただくにはどうすればよいか」と考え、お花の観賞を楽しまながら仏様とのご縁を結ぶ「山陽花の寺二十四か寺」を立ち上げました。広島・山口・岡山3県の24ヶ寺を巡る花巡礼で、大聖院は第1番です。

平清盛公に関連する巡礼もあります。平家物語にご縁のある寺社で手を結んだ「平家物語巡り」は、兵庫の須磨寺、香川の屋島寺と六萬寺、広島の大聖院、山口の赤間神宮の6社寺を結んでいます。

霊場づくりで注意しなければならぬのは、寺社本位になっていないかと振り返ることです。巡礼するエリアが広域すぎては、お参りする方の負担が大きいですし、数にこだわり魅力のない寺が集まっても皆様の興味を引きません。お寺同士で思いを共有し繋がることで活動が広がり、新たな動きが生まれるのです。

最近では神仏一体、御朱印、パワースポットといったキーワードで、新たな霊場が生まれています。今後さまざまな個性、特色を持った霊場が増えていくことでしょう。

### 全ての原動力は危機感 お寺としてできることは何か

編集部 「宮島弥山を守る会」も立ち上げられたそうですが、信仰の継承、地域振興、自然保護と多岐にわたる活動の原動力は何でしょうか。

吉田座主 私の原動力は危機感。お寺の存続、宮島の活性化、弥山の自然を守ることは相互に関係しています。それぞれにおいて危機感を感じ、いろいろなことに取り組んでいます。

今、弥山にも危機が訪れています。宮島の川は小さいのですが傾斜が急なため、雨が降ると氾濫し山が崩れます。以前は自然の力で原始林が戻っていたのですが、戻りにくくなりました。植林も検討しています。このような現状を多くの方に知って気づいていただかなければ、弥山の自然を守ることはできません。そこで役員半分は島外の方としました。外部だからこそ見える宮島の現状、評価などを島民に聞いていただき、気づきを得てほしいと思っています。

平清盛公は全国規模で名前が知られ、しかも900年という節

目のイベントです。お寺のことや宮島のことを知っていただき、信仰を浸透させる種まきにもなる貴重な機会となるはず。神社も寺も行政も、町民も、みんながかかわることができたら、いろいろな形で盛り立てていきたいと考えています。



### 真言宗御室派 大本山

#### 大聖院

〒739-0592  
広島県廿日市市宮島町 210  
TEL.0829-44-0111  
<http://www.galilei.ne.jp/daisyoin>

スズメバチ対策として有効な『スズメバチバスター』。開発元の株式会社SHIMADAの西堀美智雄社長は「『スズメバチバスター』は誘引液をボトルに入れ吊るすだけ。しばらくすると液が発酵し、匂いに誘われてスズメバチが入り、液中で溺れて死んでしまう仕掛けです。誘引液は薬剤ではないので安全ですし、大容量ボトルなので大量捕獲できます。スズメバチは4月ごろに女王バチが新たな巣作りを始めるので、商品を4月ごろから使えば、女王バチを捕まえることもでき効果的です」と語る。

## 業務用 スズメバチ 誘引捕獲器

屋外用  
スズメバチ対策

ハチを見かける屋外に設置（巣の近く及び住居区域を避ける）



柵やフェンスに



庭木や雑木林に



畑の付近に

※直射日光の当たらないところで、地面から1~3mくらいの場所に設置。  
※巣を駆除するものではありません。

蚊やハチなどの虫に備える

# 行事お役立ち 策機器

屋内用  
虫対策

屋内に入った虫を  
ケミカルランプと  
粘着シートで捕虫

光誘引捕虫システムルイクスは、非常に虫が好む紫外線の波長を出すケミカルランプで虫を集め、紫外線の波長を増幅させる蛍光色の粘着シートで虫を付着させて捕まえる。この商品のポイントの一つは、薬剤を使わないこと。開発元の株式会社SHIMADAの西堀社長はこう語る。「薬剤を使うと虫がどこかに落ちてしまいます。また、虫の死骸が晒される捕虫器は見た目が悪く、衛生的にも問題があります。ルイクスは、ランプや粘着シートを機器内に隠しています」

### 光誘引捕虫システムルイクス（ルイクス）

【商品概要】

Cシリーズ サイズ:幅272mm×高さ130mm×奥行95mm 重量:670g

Sシリーズ サイズ:幅235mm×高さ860mm×奥行250mm 重量:6.5kg

<製造元>

株式会社SHIMADA

<お問い合わせ先>

株式会社オンタイム TEL:06-6282-9327 / e-mail:info@ontime.co.jp

入ったハチを  
溺れさせて退治  
(薬剤不使用)



### 業務用スズメバチバスター

【商品概要】

サイズ:直径90mm×高さ230mm

重量:約300g

<製造元>

株式会社SHIMADA

<お問い合わせ先>

株式会社オンタイム

TEL:06-6282-9327

e-mail:info@ontime.co.jp



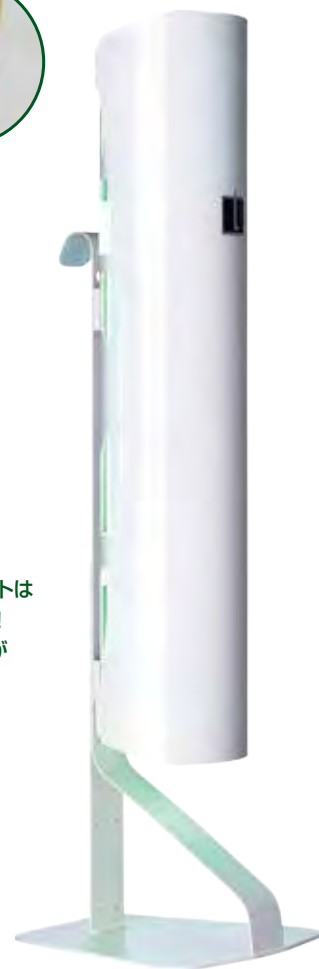
室内に自然に溶け込むカバーオーダー  
にも対応(オプション)



専用粘着シートは  
差し込むだけ!  
取外し・交換が  
簡単



コンパクト型の  
Cシリーズ



スタンド式のSシリーズ



**屋外用  
蚊・ブヨ対策**

**半径35メートルの  
大量の蚊とブヨを  
誘引して退治!**



プロパンガスが  
入手困難な場合のために、  
取扱代理店の株式会社  
オンタイムがカセットガス  
タイプを独自開発中

蚊が媒介する主な病気  
ジカ熱・マラリア・  
日本脳炎・デング熱など

**モスクート・マグネット**

**【商品概要】**

サイズ:幅440mm×高さ780mm×奥行き840mm  
重量:15.9kg(プロパンガス容器を除く)

**<総輸入元>**

ヤナセ産業機器販売株式会社

**<お問い合わせ先>**

株式会社オンタイム TEL:06-6282-9327/e-mail:info@ontime.co.jp

この装置は、プロパンガスの燃焼によって発生した二酸化炭素と誘引剤によって蚊を引き寄せ、内蔵ファンのバキュームで本体内部の捕獲ネットに吸い上げ、閉じ込めて乾燥させる。ヤナセ産業機器販売株式会社の末次克二さんは「二酸化炭素と誘引剤によって蚊やブヨのメスを引き寄せて捕獲することによって、繁殖を抑えます。また殺虫剤を使用しないため、子供やペット、他の益虫や昆虫にも影響がありません。野外行事の蚊対策として最適なものだと思います」と語る。すでに4000台以上販売されている。

**これが吸血性の虫を引き寄せるモスクートマグネットの仕組み**

※写真はプロパンタンクタイプ



①プロパンガスを燃焼させて、二酸化炭素を放出。野外の蚊やブヨが装置の周りに寄ってくる。

②誘引剤により、本体の周辺に集まった蚊やブヨを吸引口より本体に吸い取り。

③捕獲ネットに閉じ込め乾燥。ネットがいっぱいになったら燃えるゴミとして処分。

**寺社の夏の  
環境対**

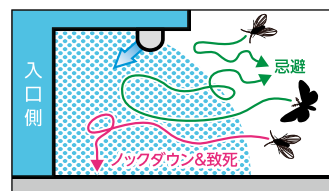
**屋外用  
飛翔昆虫対策**

**無煙・無臭  
業務用大型ベープ**



家庭用の「ベープ」をパワーアップさせた『ウルトラベープ』。レストランのテラス席など屋外使用をイメージした商品だ。フマキラー・トータルシステム株式会社の藤本忠男さんは「屋外利用想定なので、少々の雨なら耐えられます。また電池式なので、電源がない場所にも自由に設置できます」と語る。ウルトラベープはカートリッジの不織布に、虫が非常に嫌がる、無煙・無臭の安全なピレスロイド系の薬剤をしみこませ、ファンで、薬剤を飛散させる。現在までに約5万台の販売実績がある。

**薬剤蒸散イメージ**



軒下に設置

**ウルトラベープ**

**【商品概要】**

サイズ:幅250mm×高さ145mm×  
奥行き150mm  
重量:約640g

**<販売元>**

フマキラー・トータルシステム株式会社

**<お問い合わせ先>**

株式会社薬信社(やくしんしゃ)  
TEL:06-6262-3113

ト  
ピ  
ッ  
ク  
ス

避難所が見つげやすく  
被災者にも救援者にも役立つ

# 全国どこでも使える 災害救援アプリ

「支えあいの市民社会」の研究を続けてきた大阪大学大学院人間科学研究科の稲場圭信教授に、同教授の研究グループが構築した日本最大級の災害救援・防災マップ『未来共生災害救援マップ』（略称：災害マップ）が生み出された経緯を聞いた。



プロフィール 稲場 圭信

大阪大学大学院教授：宗教社会学者。東京大学文学部（宗教学）卒、ロンドン大学大学院博士課程（宗教社会学）卒、宗教社会学博士。ロンドン大学、神戸大学などを経て2010年4月より現職。著書に『災害支援ハンドブック』（春秋社）、『利他主義と宗教』（弘文堂）など。宗教者災害支援連絡会世話人、専門社会調査士、専門宗教文化防災士

寺社が避難所となった  
東日本大震災がきっかけに

場所も表示される。

また、このマップの利用者が文章や写真を投稿することもできる。「アプリから投稿ができるため、自分でSOSを出せる。どんな支援が必要か、被災者が何人いるか、けが人がいるかいないかなども伝えられるのです。被災状況や被災者リストも写真でアップできます」



複数のメディアで取り上げられ注目度も高い

「東日本大震災が発生した際に私も現地に赴いたのですが、いわゆる公民館や学校だけでなく、お寺、神社が緊急避難所の役割を果たしていることが分かりました。しかし、宗教法人を避難所としてまとめている大規模なデータはなかったのです。そこで、地震の1週間後に避難所となっているお寺・神社を落とし込んだマップを作ったのがきっかけです。2014（平成26）年に一般無料公開した時点ではパソコン版のみ。やはりスマホで使えるアプリがあった方がいいだろう、ということになりました」

「観光」「見守り」で  
平常時の利用を促進

このアプリの管理者は、どのIPアドレスからいつ、どこで情報が発信されたかを見ることができ、しかしこうといったアプリは、防災対策というだけではなかなか普及しない。

「そこで、平常時にも観光や、高齢者の見守りという形で有益に使っていただけるものにしようと考えました。一般社団法人全国自治会活動支援ネットが推進する『みまもりロボくんⅢ』というものがあります。これは太陽光、風力発電という独立電源で稼働し、カメラやサイネージ等



# ITを用いた地域連携に関する 協定・共同研究が始動

大阪大学と(一社)全国寺社観光協会が連携



記者会見の様子

2017(平成29)年5月15日、大阪大学大学院人間科学研究科において「新たなつながり!お寺・神社と防災・見守り・観光 ITを用いた地域連携に関する協定・共同研究始動」という記者発表が行われた。

ここで、大阪大学大学院人間科学研究科の稲場圭信教授らの研究グループが開発した日本最大級の災害救援・防災マップ『未来共生災害救援マップ』を、災害時だけでなく平時の「観光」「見守り」の分野でも活用することが明らかにされた。一般社団法人全国自治会活動支援ネットワークが地域の子供と高齢者を見守るために開発し、普及を進めている、カメラ搭載のWi-Fiステーション『みまもりロボくんⅢ』の機能と技術を整備。防災だけでなく観光、見守りの情報インフラを共同開発するというものだ。

また、新たな産官学連携の仕組みとして、大学関係者に加えて一般市民、企業人など多様な人が登録して参加できる『大阪大学オムニサイト(OOS)』もスタートさせる。今回は、OOS第1、2号として、一般社団法人全国自治会活動支援ネットワークおよび一般社団法人全国寺社観光協会が主催・共催する展示、シンポジウム、イベントで連携することを決定した。



みまもりロボくんⅢに使用するNTN社製独立電源



大阪大学オムニサイト協定調印式の様子。

の機能もある、高さ約6メートルの電柱のようなWi-Fiステーションなのですが、これと連携することで、観光客はこのステーションの近くに行けば観光情報を入力することができる、という仕組みを考えています。この『みまもりロボくんⅢ』は独立電源(NTN社製)なので災害時に携帯電話の充電も可能だ。自治体として導入に向けて検討しているところもある。今後はアプリで協力してくれた寺社への設置も働きかけていくとのことだ。

## 『未来共生災害救援マップ』の注目機能

### ①現在地表示

GPSを使って自分の現在の居場所が表示される。これにより最寄りの避難所を見つけやすい。また海拔も表示されるので、高台を探することができる。



### ②被災者投稿が可能

避難所にたどり着いた住民が、避難所の被災状況などをリアルタイムで投稿できる。避難所を探している人や救援者にも役に立つ。



### ③避難可能範囲表示

画面の「災害到達時間」の欄に、災害警報などの情報をもとに時間を入力し「OK」をタップすればアプリの画面に赤い円が表示される。設定時間内に避難することを推奨される避難所がすぐわかる。



## 『未来共生災害救援マップ』 スマホアプリのダウンロード



【iPhone版】App Storeで、「災救マップ」を検索して、アプリをダウンロード。

【Android版】Google playで、「未来共生災害救援マップ」を検索して、アプリをダウンロード。



(上)薬師如来像と十二神将立像の全体写真。薬師如来像は高さ約98cm、十二神将像はそれぞれ約38cmの高さで台座に立つ

(右)穏やかな表情の薬師如来像

(左)十二神将立像の中の1体の表情



曹洞宗 福壽山 圓龍寺

〒989-1745  
宮城県柴田郡柴田町入間田寺35  
TEL：0224-56-3469



# 薬師如来像と十二神将立像

県指定文化財、十二神将を従えた薬師如来像

やくしにょらいぞう じゅうにしんしゅうりつぞう

1616(元和2)年開山の福壽山圓龍寺には、宮城県指定文化財の薬師如来像と十二神将立像が安置されている。どれも桂材の一本造りで、穏やかな表情で静かな立ち姿の薬師如来像に比して、十二神将は憤怒など表情が豊かで躍動感がある。木造の薬師如来像と十二神将像が揃うのは、東北では珍しい。

十二神将立像の一体に1415(応永22)年との墨書があるので、どの像もその頃に制作されたと思われる。これらは、かつてこの地にあった目蓮寺から1908(明治41)年に圓龍寺に移された。「目蓮寺が廃寺になり当寺で預かりました。この地域には古くから御堂や神社など信仰の場が多く存在していました。信仰心が篤い土地柄なので、こうした古い仏像が残されているのでしよう」と話すのは住職の高橋正人さん。

今でも毎月旧暦8日の御開帳には、地域の人々が集まってお供え物をし、地元の中学校からは授業で見学に訪れるという。全国から訪れる見学者も後を絶たない。「戦乱や飢饉の時代を経て残った仏像です。これらを守り、人々の想いを繋いでゆくことが大切だと思っています」と高橋さんは語ってくれた。



# 6点もの文化財を収める県指定文化財の本殿

## ひよしさんのうじんじやほんでん

# 日吉山王神社本殿



(上)三間社流造の構造がわかる本殿横から  
(中)(下)県文化財に指定されている古面と三猿像



### ひよしさんのうじんじや 日吉山王神社

〒981-0213  
宮城県宮城郡松島町松島字町内4  
TEL.022-353-4380 (社務所)  
TEL.022-354-5543 (宮司宅)

日吉山王神社は、828(天長5)年に慈覚大師が瑞巖寺の前身の延福寺を創建した折、寺の護神として近江坂本の山王社を分霊し祀ったものといわれる。瑞巖寺造営に併せて、1640(寛永17)年に五大堂の前から現在の場所に移された。三間社流造の本殿が宮城県指定有形文化財に登録されている。

木々に囲まれた社殿は簡素だが佇まいに端正な美しさがあり、東日本大震災での損壊もないほど堅牢だ。「瑞巖寺の守護神社で、創建年が明確、江戸中期の建築が残されていることなどが文化財に指定された理由でしよう」と高城克彦宮司は語る。

また、本殿内にある6点の宝物(古面、三猿像、ご神馬、獅子狛犬、地藏菩薩立像、薬師如来坐像)は松島町文化財に登録されている。これらは延福寺創建時に近江より運ばれたと考えられており、獅子狛犬は滋賀県のMIHO MUSEUMに展示されたこともある。

春の大祭は瑞巖寺、円通院、天麟院と合同で斎行し、1トンの神輿が松島海岸を渡御する。本殿や宝物を次の世代に伝えるためにも、祭などを通して神社に携わる若い世代を増やしていきたいと高城宮司は考えている。



プロフィール

みやうら いちろう  
宮浦 一郎

1953 (昭和 28) 年 7 月 生まれ。現在、岐阜教区第 1 組観音寺住職 (岐阜県岐阜市)。大谷大学真宗学科卒業後、1976 (昭和 51) 年に本山宗務役員として奉職。1990 (平成 2) 年に名古屋教務所次長、以降、四国教務所長、日豊教務所長、組織部長、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌本部事務室事務部長、東京教務所長、総務部長を歴任。2013 (平成 25) 年 7 月 1 日から大阪教務所長兼難波別院輪番を務める。

クローズアップ

# 老朽化・耐震性の問題を有す「御堂会館」 新たな時代にマッチした「伝道会館」へ

大阪市中心部を南北に縦断し、大動脈として知られる「御堂筋」の名称の由来となった真宗大谷派 難波別院 (南御堂)。現在、その難波別院の境内にある御堂会館が、建て替え工事を行っている。1595 (文禄 4) 年に創建され、1945 (昭和 20) 年には戦災にて消失した難波別院。そして 1961 (昭和 36) 年に本堂、そして山門を兼ねて御堂会館が建設された。その会館が、2019 年には新施設に生まれ変わることになる。その経緯や意義を難波別院輪番の宮浦一郎さんに聞いた。

建て替えにあたり  
大きな問題が発覚

「建て替えのお話をする前に、まず御堂会館とはどういう目的の建物であるのか、ということからご説明します。この建物は、まずもって「伝道会館」です。寺を訪れる人だけでなく、道行く人々にも教えを伝えていく。施設内には 1000 人規模の大ホールがあり、そこで仏教講演会などさまざまな催しを行うことで、大阪に住む人々にいろんな形で仏教に触れてもらいたいという願いを込めて建設されました。その催しには、御堂筋パレードの前身で当時大阪最大級の祭

りであった「御堂まつり」、今年で 55 回を迎える「南御堂盆おどり」など、地域に多大な貢献をもたらしたのも含まれる。この御堂会館が 2016 (平成 28) 年に休館し、建て替え工事を行うことになった。「御堂会館は今年で 56 年目を迎えます。その時間経過によって老朽化しているということも建て替えの



建て替え工事前の御堂会館



御堂筋に面した御堂会館 (斜線部分が建て替えられる)





建て替え工事の様子

理由ではありませんが、一番の理由は耐震性における問題です。不特定多数の方々が集まる建物については耐震診断結果を自治体へ報告をしなければなりません。診断を受けた結果、『震度6以上の地震が発生した場合、倒壊・崩壊はしないものの一定の方向にかなりの被害が発生する可能性がある』とされました。今後どうするべきかの選択肢は、耐震補強をするか、解体して更地にしてしまいか、建て替えるかの三つしかなかった。「あれだけ大きな施設ですから、補強にも解体にも莫大な費用がかかることが判明しました。概算見積では補強で11億円、解体して簡素な山門を作った場合では8億円。どうしたものかと頭を抱えていた時、たまたま取引のある銀行から『他の事業者の資金を活用

し、建て替えを行うという方法もある』ということ聞きまし

### 外部業者と連携し 新たな「門」を生み出す

つまり他の業者が御堂会館の跡地を賃借して建物を建設する。そしてその事業を行う業者が資金を提供する、というものだ。その方法を検討するため業者を募集することとなった。難波別院の敷地内で、御堂筋と本堂の間に建物が建つということから、その建物にはさまざまな条件がつけられることとなった。(下の表参照)

「非常に虫のいい条件ではありましたが、『伝道会館』としてあった御堂会館の替わりとしての機能を有するものでなくてはならなかったのです。結果としては、御堂筋の一等地で交通アクセスもよい場所であることから、4社が名乗りを上げてくださいました。そこから絞り込んで、最終的に積和不動産関西株式会社を優先交渉先とすることにしました」

積和不動産関西株式会社が提案した17階建ての建物はホテル。株式会社東急ホテルズが運営する「エクセルホテル東急」となる。同ホテルとしては関西初進出。

日本初となる寺院山門一体型のホテルだ。以前の御堂会館同様、1階に御堂筋から本堂・本尊が望める開口部があり、北側の1〜4階については難波別院が使用することとなる。だが当初は、門徒さんなど関係者のなかにはホテルということに違和感があるという意見もあったようだ。「この決定をするまでには、関係者の方々への説明のために関西各所を巡回しました。結局、決定までに2年半もかかりましたね」

### 地域貢献という もう一つの意義

ホテルということになれば、いろいろな方が難波別院を訪れる。「このホテルのコンセプトは、門」ということですから、ホテルのお

客様が難波別院、そして日本の仏教に触れる入口になればと考えています。例えば海外からの観光客の方々がお茶を体験できるといったようなことも。さらに、大谷大学や大阪大谷大学など関係のある大学とも連携することも視野に入れています。仏教について我々とは違った角度でさまざまな事例を研究しているところですので、また違ったアプローチを生み出すことができるのではないかと考えています。またこのプロジェクトには地域貢献という、もう一つの意義もあります。現在、訪日外国人の増加によって、関西は深刻なホテル不足に陥っています。これを少しでも緩和できるのであれば、多少なりとも地域の役に立っているのではないかと考えたのです。ちなみに、南御堂のすぐ北隣に大阪セ

ンタービル・大阪御堂筋ビルというツインビルがあります。実はこれも南御堂の土地を利用して建てられたものです。1969(昭和44)年の竣工当時は伊藤忠など有名企業がそのビルを利用することとなり、結果としてかなりの地域貢献となりました。このツインビル同様、今回のホテルも、大阪や関西に何かしらお役に立てるものであればと願っております」

御堂筋の新たなランドマークとなりそうな、新「御堂会館」の竣工は2019年の冬を予定されている。御堂会館の「伝道会館」としての役割をしっかりと受け継いだうえで、現代の社会情勢を加味し、さらに「仏教と社会」を結びつけることができると期待されている。

### 【御堂会館建て替え条件】

- ① 御堂筋から本堂が望める山門・参道の創出
- ② 難波別院が賃借・利用する施設の確保(新施設内に難波別院が利用できるスペースを確保)
- ③ 本堂との調和に配慮した外観やデザインであること
- ④ 本堂や敷地の従前の利用を妨げない建物配置・計画と運営上の配慮をいただくこと(御堂会館が建っていた場所に建てる)
- ⑤ 従前に行われていた各種行事(法要や盆おどりなど)への継続実施への配慮
- ⑥ 一般定期借地権での取り組みであること(土地売却はしない)
- ⑦ 期間満了で契約が消滅し、建物は更地で返却いただくこと



真宗大谷派 難波別院(南御堂)

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-11  
TEL. 06-6251-5820  
<http://minamidido.jp/>

# 『フェリシモおてらぶ』で 寺との“縁”をつなぐ



多彩な『フェリシモおてらぶ』のアイテム



企画開発を担当する内村彰さん

**寺文化を通じて  
日常に癒やしと興味をもたらす**

女性を中心に高い認知度を誇る『フェリシモ』。神戸に本社を構える大手通販会社で、ファッションから雑貨、食品と幅広いアイテムを取り扱っている。その中でも最近特に20〜40歳代の女性を中心に幅広い層に支持されているのが、『フェリシモおてらぶ』と名付けられたプロジェクトだ。

「お寺文化から心豊かな暮らしのヒントを見つける」をコンセプトにスタートしたこの企画は、全国さまざまな寺や企画展、僧侶とコラボレーションし、ユニークな商品を企画・製作している。商品は主にコラボレーションした寺やイベント企画での限定販売だが、通常販売としてフェリシモ

のサイトなどで購入できる企画商品もある。このプロジェクトは今から3年前、企画開発を担当する内村彰さんの趣味である佛像鑑賞がきっかけとなりスタートしたが、現在では日本各地の寺からの依頼を受けるまでに成長。現在までに手掛けた寺とのコラボレーションは数多くあるが、それは全て寺側からの依頼によるもの。

## 寺同士のクチコミで コラボレーションが拡大

寺とのコラボレーションはクチコミからが主。例えば、ある住職の奥方がフェリシモの愛好家で、そこから依頼があり、その後クチコミで各地の寺とこの縁が繋がったなど。実際にコラボレーションをするとなれば企画開発担当者が寺へ足を運び、じっくり話し合いを重ねてから企画を進めるといふ。遠方の寺でも必ず足を運ぶのには理由があり、これは一参拝者として訪れることで生活者目線での寺の魅力を感じ、それを商品に活かすためだ。また、商品には必ずコラボレーションした寺や仏像の由縁を紹介し、商品を手取ることで寺



## 運慶展とのコラボグッズ もちもち邪鬼ポーチ

今秋(9/26~11/26)、東京国立博物館で開催される特別展『運慶』に合わせてコラボした商品が『もちもち邪鬼ポーチ』。全部で4デザイン。色だけでなくデザインが全て違う。



黄助

灰治郎



緑太

白彦

企画進行中のため、デザインの細部は変更になる可能性があります。



### 絵心経 マスキングテープセット

字が読めない人でも般若心経が唱えられるようお経を絵で表した「絵心経(えしんぎょう)」のマスキングテープ。モノクロとカラーの2個セット。



### おてらの 癒やしごはんプログラム

お寺に伝わる食事を家庭向きにやさしくアレンジ。指南役は緑泉寺住職で料理僧として料理、食育に取り組む青江覚峰さん。



### らほつニットキャップ

仏像の特徴的な頭髪、螺髻(らほつ)を再現したニットキャップ。商品の情報カードには、仏像の前では帽子を取るというマナーを伝えています。



### プチ写仏プログラム

仏像を写し描きする「写仏」を、日常に取り入れやすくアレンジしたプログラム。1日10分集中して、仏像下絵をなぞり描く。



### SARASAクリップ 仏像なぞりぬり絵

ペンテージ&ミルクカラーなどのゼブラの人気商品「サラサ」のペン10色と全国各地の寺とコラボレーションして作った仏像なぞりぬり絵カードがセット。



### スキマ香

ずっと火を着けておくのは心配という人に。約10分、ほっとするさわやかなヒノキの香りではんの一瞬、日常を忘れて別世界へ。

## コラボ商品製作のプロセス

商品によって異なるが「ごえん写仏」の場合は以下のようなプロセスになる。

### ①打ち合わせ

寺保有のご本尊を拝見。  
取材・撮影

↓ [1~2日]

### ②下絵作成

写真をもとに下絵の描き  
起こしをし、寺との緻密な  
チェック

↓ [7~10日間]

### ③商品製作

表面はお顔のアップ。裏面は  
半身が描けるオリジナル下絵  
の完成。筆ペンと半紙をセット  
にして納品

↓ [15~20日間]

### ④納品

ご注文いただいた数量を  
セットしご希望の場所に  
一括納品

※スケジュールの一例です。

<お問い合わせ先>

株式会社フェリシモ  
〒650-0035 神戸市中央区浪花町59番地  
コレクション企画事業部  
ミニツクグループ 企画開発チーム  
TEL: 078-325-5555 (代表)  
oterabu@felissimo.co.jp (メール)  
http://feli.jp/s/oterabu/ (おてらぶホームページ)  
http://www.felissimo.co.jp/ (フェリシモホームページ)



最小製造数が一番少ないのがこの「ごえん写仏」で、50セットから対応可能なこと。

現在はいりピーターも多い寺と  
のコラボ商品だが、『フェリシモお  
てらぶ』は商品の企画開発にと  
どまらず、寺で実施するさまざま  
まな行事のイベント化のサポート  
やコーディネートをはじめ、イン  
ターネットサイトやSNSを通じ  
ての情報発信など、普段は寺に  
馴染みのない世代にも親しみや  
すいアイデアや手段を通じ、寺

文化が持つ魅力を広めている。  
こういった取り組みの根底に  
は、かつて地域のコミュニケーション  
拠点として機能していた寺に、  
今も残る暮らし方の工夫や助け  
合いを基本とした人や地域との  
繋がりを、あらためて現代に蘇  
らせたという思いがあるからだ。  
フェリシモの内村さんは「商品は  
お寺文化に興味を持つ入り口と  
なれば良いと思っています。あく  
まで実際にお寺へ足を運んでもら  
うためのきっかけになれば」と語  
る。単にコラボレーション商品を  
販売するのではなく、その後のサ  
ポートやバックアップを含めた寺  
との「ご縁」を大切に作る姿勢  
こそ、『フェリシモおてらぶ』がク  
チコミで日本各地の寺に広がった  
理由ではないだろうか。

についての知識が得られる仕掛  
けとなっている。  
『フェリシモおてらぶ』が手掛  
けるグッズは多数あるが、中  
でも博物館とのコラボアイテムは  
納品後1週間足らずで完売し、  
1ヶ月待ちのヒット商品になる  
ものも。また、寺オリジナルの写  
仏キットも依頼をする寺が多い。  
現在最も多いコラボ商品は、『ご  
えん写仏』と名付けられた寺の仏

## その後のご縁

像を描いた写仏キットだが、他に  
もお香などのさまざまな商品も  
開発できるそう。企画から商品  
製作までの期間は物にもよるが約  
1ヶ月と早く、最小製造数は少  
ない量からでも対応している。

全日本社寺観光連盟で受け入れている、外国人インターンが国内外へ発信します。

外国人ならではの目線で社寺の魅力を再発掘!!

## 皆様の地域にお伺いし 外国人に役立つ社寺の情報を発信!!

メンバー：スペンサー・ミードル (米・大学生)



Hello, my name is Spencer Meador. I have just started as an intern at JTAST. I am from the United States and am currently pursuing my bachelors degree in hospitality management at the University of Central Florida in Orlando Florida. I'm very excited to be given the opportunity to not only learn about the history and the culture behind the shrines and temples but to be able to share everything I learn with all of you. While I'm at Sanpai Japan my goal is to increase our social media presence and to create even more resources that will help bring more English speaking natives to visit our Shrines and Temples!

【日本語訳】こんにちは。私の名前はスペンサー・ミードルです。私はインターン生として今回全日本社寺観光連盟へ来ることができました。私はアメリカ出身で、現在はオーランドにあるセントラルフロリダ大学ローゼン・ホスピタリティ経営学部(学士課程)で学んでいます。このような機会を頂くことができ非常に興奮しております。なぜなら、神社や寺院の

背景にある歴史と文化について学ぶだけでなく、Sanpai JapanのSNSを通じて、私が学んだことすべてを皆さんと共有できるからです。全日本社寺観光連盟での目標は、Sanpai Japanの存在価値を高め、さらに外国人が神社や寺院を訪れる際に役立つ情報を作りだしていくことです。

<一部記事の紹介>

## 日本の近代都市に歴史的建造物と 自然の景観が同居していることを発見!!

寄稿者：ミシェル・アレマン (米・大学生)

The Myozenji Temple is absolutely gorgeous. Once passing through the incredibly unique entrance, you find yourself surrounded in a square of buildings with the temple standing grandly within the center. While you are able to see skyscrapers beyond the courtyard, it only increases the temple's natural grandeur.

The Myozenji Temple is covered in waterfalls and beautiful vinery. The main temple connects to the supplementary buildings with a small bridge. The right side of the temple has a very large waterfall that is almost hidden and truly makes you question where you are. This temple definitely is an oasis in the hectic city life of Roppongi.

【一部要約】六本木(東京)のビルに囲まれた地域にその寺院があります。ユニークな入口を入ると、広場の中心に妙善寺は威厳を放ってそびえたち、広場からは六本木の超高層ビルが望めますが、近代的な建築物が寺院の自然の壮大さをさらに際立たせています。

滝や美しい植物園に囲まれ、それは私たちに大都会にいることを忘れさせてくれます。妙善寺は六本木という大都会にある憩いの場であることは間違いありません。



お問い合わせ先

一般社団法人 全日本社寺観光連盟 〒107-0052 東京都港区赤坂2-8-16 赤坂光和ビル2階  
TEL:03-6416-0166 FAX:03-6230-0349 Email:info@jtast.jp URL:http://jtast.jp/  
お困りのことや質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせください



# 行政・観光リポート

行政・観光のトレンド情報をリポート

## 茨城大学と県国際観光課が連携 留学生による『茨城の魅力発見ツアー』で社寺が人気

### 留学生が社寺など観光スポットを訪れ SNSなどで発信した画像を紹介

今年2月4日(土)～14日(火)、茨城大学水戸キャンパスの図書館本館1階展示室において、中国やインドネシア、韓国など、さまざまな国の留学生たちが茨城県内の観光スポットを訪れ、SNSなどで発信した画像を紹介する『茨城の魅力発見ツアー 留学生のSNS画像展』が開かれた。「この展示会のベースとなったのが、留学生約50人が参加して1月21日に開催された『茨城の魅力発見ツアー』でした」と語るのは、同大学人文社会科学部の横溝環准教授。横溝さんが担当するCOC地域志向教育支援プロジェクトの授業科目「地域社会と異文化コミュニケーション」では、毎年地域を拠点とした国際交流の企画を考案・運営しており、県内の外国人向け観光モニターツアーを展開している茨城県商工労働観光部国際観光課とも強いつながりを持つ。

ツアーの内容は、同観光課との連携の元で授業を受講している日本人学生がコーディネートした。「学生が3グループに分かれ、どんなスポットに行きたいか留学生に事前インタビューを行ったのですが、社寺の名前を挙げる留学生がすごく多かったと学生から聞き、私も驚きました。入念な下見を重ねながら、慎重にツアー内容を具体化していった学生の頑張りには、私自身も本当に頭が下がる思いでした」と横溝さんは語る。

### 異国の地で勉学に勤しむ留学生が 日本に愛着を感じるきっかけに

そうやって形になったのが、笠間市での陶芸体験、笠間神社訪問、袋田の滝見学などを織り込んだツアー。参加した留学生一同は、人生初の体験の連続を大いに楽しんだ。「陶芸体験は8割の留学生が『友達にも紹介したい!』と大興奮。神社をじっくり巡るのも初めてという留学生が多く、終始笑顔にあふれ、歓声がこだまする素晴らしいツアーとなりました」と横溝さん。留学生たちが立ち寄ったスポット周辺の飲食店では、イス

ラム教を信仰する留学生のため、お祈りを行えるスペースを提供するなどの厚意もあったとのこと。異国の地で勉学に勤しむ留学生が、よりいっそう日本という国に愛着を感じるきっかけにもなったことだろう。

ツアーのさまざまなシーンを切り取った画像展は、茨城の魅力を再確認する良い機会として、日本人学生をはじめ大学関係者にも好評を博した。「画像展の開催が大学の試験と重なったこともあり、学生にとっては緊張を適度にほぐすリフレッシュ効果もあったのではないだろうか」と語る横溝さん。留学生への事前インタビューでは、行きたいスポットとして御岩神社や鹿島神宮も挙がっていたとのこと。今後は異なる内容でのツアー開催にも期待は高まる。今回の同大学の取り組みは、地域や行政を巻き込んだ社寺のインバウンド誘致等にも大いに参考となることだろう。



陶芸体験の様子



インドネシアの女性がアップした  
SNS画面



学生による展示作業



四天王寺南大門前にて柴燈大護摩厳修を行う。国家安寧、佛法興隆、五穀豊穡のほか、一行の道中安全と大阪の安全も併せて祈念される。

EVENT REPORT

さんぼういんもんぜきおおみねさんはなくにゆうぶ  
**三宝院門跡大峯山花供入峰**

# 大阪～奈良の街中を行く山伏たち 地域とのつながりで、復活から続いた1世紀

「大峯山花供入峰」は、真言宗醍醐派総本山醍醐寺・三宝院門跡が、全国から集まった300名余の修験者を従え、修験道の聖地である大峯山(奈良)の山中に蓮華の花を供える行事。古くは1200年前の弘法大師の孫弟子・聖宝理源大師による入峰修行にもつながる。1911(明治44)年に復活して以降は毎年6月に行われ、今年で107回目を迎えた。7日7時に始まった「御法楽お練り行列」は、報恩院(大阪市中央区)から四天王寺(同、天王寺区)までの早朝の大阪の町中を、300名の山伏が法螺貝を吹きながら行列した後、四天王寺境内で柴燈護摩供養が行われた。出勤を急ぐ会社員や学生は、このお練り行列に出会い、「日ごろこのような山伏さんたちを見たり、法螺貝の音を実際に聞いたこともなかったのが驚いた」と感想を漏らしており、一般の人たちが修験道を再認識する一助となつているように思えた。

真言宗醍醐派近畿連合会の草柳諦世さんによると「この行事は、当山派修験本山・三宝院門跡が大峯山に入るに当たり、行者もお供をして随喜修行する行事として始まりました。和宗総本山四天王寺様では、道中安全だけでなく、国家安寧・仏宝興隆・五穀豊穡・大阪の安全を祈念し、南大門前にて柴燈大護摩厳修が行われますが、これは1990年の80回目よりご協力いただいているものです」と話す。



②一般市民や観光客が行き来する、大阪市内の四天王寺近くの一般道を練り歩く



①大阪・高津 北向不動尊報恩院を出発

## 出発

今年はいにくの雨であったにもかかわらず、その迫力たるや、思わず通りすぎる人々も立ち尽くすほどだ。



⑥龍泉寺の本堂(写真)、及びその後八大龍王堂において御法楽



⑤洞川の住民たちが通りに立ち並んでお出迎え。先頭が取材にお応えいただいた草柳さん

## 龍泉寺へ向かう

龍泉寺までの洞川の温泉街をお練り行列する様子は洞川の初夏の風物詩となっている。このシーンを見ようと全国から観光客も訪れる。





報恩院前から四天王寺まで山伏が、法螺貝を吹きながら行列。この1団体の行事の安全な遂行のために天王寺区の警察が交通整理などを協力して約70年になる

大護摩厳修を終えた二行は、近鉄大阪阿倍野橋駅より電車・バスを乗り継ぎ、洞川到着。すぐに役行者が開山した龍泉寺(奈良県吉野郡)に向かい、洞川の温泉街をお練り行列した。行列沿道には、小中学生をはじめ多くの地元元住民の方々が並び、口々に「ようお参り」と声を掛ける。住民の一人は、「わしも小さい頃からこうやって『ようお参り』と声を掛けたものやった」と語る。この心温まる風景は、地元の方々の大きな心の財産になっているのだ。

醐山青年連合会の池上裕全さんは、「洞川があつてこそこの修行。このように温かくお出迎えを頂けることには深く感謝しております。またここに至るまでの道々でも出迎えてご接待下さる方が沢山おられます。そのような御恩に応えるよう修行に励みます」と真摯に語る。

その後、二行は翌8日の深夜、午前1時に龍泉寺での水行ののち、大峯山に入り小篠根本道場を目指し、現地では役行者神変大菩薩にお花をお供えし、柴燈護摩厳修した。

草柳さんは語る。「この行事はお寺の行事ではありませんが、参加した行者たち、大阪や奈良・洞川などをはじめとする一般の方々の思いやご協力に支えられたからこそ、1世紀に渡って続けられたものだと思います。今後、このような思いをどのように皆さんに伝えていくかを大きな課題として取り組んでいきたいと思っています」



お練り行列を温かく迎えてくれる地域の方々への感謝の気持ちを語ってくれた、醐山青年連合会 池上裕全さん(写真上)と大塚知明(写真下)さん



④四天王寺の境内を進む山伏。その後南大門前で柴燈大護摩厳修



③四天王寺に到着



⑧小雨降るなかで行われた、龍泉寺での柴燈護摩



⑦入峰修行の無魔成満を祈念する柴燈護摩に臨まれる三宝院門跡

# 「臨床宗教師」

宗教宗派の枠を超え

終末期の患者の心をケアする宗教者  
医療と宗教の連携による新たな試み

2016（平成28）年の1年間で亡くなった人は約130万人。

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本は、いまだ前例のない「多死社会」に突入したと言われている。

「延命」から「緩和」へと終末期医療が移行していくのと同時に

今後は、病院ではなく介護施設や在宅等の施設で最後を迎えるお年寄りが増えてくる。

それら終末期医療の現場では「身体的ケア」とともに患者の悩みや苦しみに寄り添う「心のケア」が重要になってくるだろう。

そんな現状の中で活躍を期待されているのが医療機関や福祉施設などの公共的空間、被災地で

布教や伝道を目的とせず心のケアを提供する宗教者「臨床宗教師」だ。

東日本大震災の支援を機に

「臨床宗教師」養成講座が発足

2011（平成23）年3月、未曾有の被害をもたらした東日本大震災。ボランティアが現地

搬送や炊き出し、亡くなった方々

への追悼儀礼、遺族や被災者の

立ち直りを支援するグリーンフケ

アなど宗教者ならではの支援を

行った。さまざまな信仰を持つ

宗教者が被災者の価値観を尊

重しながら苦悩や悲嘆に向き合

において大きな役割を果たした。

2011（平成23）年5月には

宗教者、医療者、研究者の協力

連携による「心の相談室」が発

足。墓園での弔事、フリーダイ

ヤルでの電話相談、傾聴移動喫

茶の運営などが実践され、宗教

動を目指し、2012（平成24）

年4月に「臨床宗教師」を養

成する「実践宗教学寄附講座」

が東北大学大学院文学研究科

に設置された。

日本版チャプレンとしての

臨床宗教師の役割

「臨床宗教師」という名称は、

「心の相談室」で代表を務めた

故岡部健医師が、欧米の「チャ

プレン」に対応する日本語とし

て考案。欧米のキリスト教圏で

のチャプレンは、病院や軍隊な

どの公共施設に駐在して相談相

手となる牧師で、大学院で神学





「臨床宗教師」と名付けた故岡部健医師

を修めた後に臨床牧会教育プログラムを受講した専門家のこと。現在は人々の宗教宗派が多様なため仏教徒のチャプレンも存在する。岡部医師は「宗教や死生観について語り、この暗闇に降りていく道しるべを示せる宗教者が死の現場からいなくなることが戦後の日本の問題。医療(辺)倒となった死の現場に、医師や看護師と対等のパートナーシップをもって加わることでできる公共性を持った宗教者が求められている。日本でも欧米のような、日本人の文化や社会にふさわしい形の日本版チャプレンが

必要である」と考え「臨床宗教師」を提唱した。

公共的空間において布教や伝道を目的とせず、ケア対象者の信念や信仰、価値観を尊重することなどを基本理念としている「臨床宗教師」。異なる宗教宗派者同士が協力し合い、医療者やチームを組み、さまざまな信仰を持つ人々の宗教的ニーズにこたえる専門家としての「臨床宗教師」を育成する取り組みが、現在、東北大学を中心に龍谷大学、高野山大学など諸大学へ広がりを見せている。

### 臨床宗教師育成の取り組み

「心の相談室」の活動を踏まえ、専門家としての「臨床宗教師」を育成するため2012(平成24)年4月に東北大学大学院文学研究科に「実践宗教学寄附講座」が開設。10月には第二回目となる臨床宗教師研修が行われた。

受講資格は基本的に宗教教団に所属している宗教者であり、信徒の相談に応じる立場にある者。約3ヶ月の臨床宗教師研修のプログラム受講後に修了証が授与される。プログラムは、座学(講義)、グループワーク、実習からなり、傾聴スキルやスピリチュアルケアの能力、宗教間対話や宗教協力の能力、宗教者以外の諸機関との連携方法を学ぶ。宗教宗派を超えて、お互いの立場や経験、価値観を尊重しながら心のケアを学ぶ「臨床宗教師研修」は、受講者が自らの信仰を問い直し、宗教者としての自覚を深めることにもつながっている。

東北大学大学院実践宗教学寄附講座の高橋原教授は、宗教者の研修後の活動として「福祉

施設での傾聴活動や被災地の仮設住宅での居室訪問などの、臨床宗教師本来の理念に基づいた公共的空間での活動。写経会や音楽を交えた法話会の実施、葬儀後四十九日までの法要にグリーフケアを取り入れるなどの、宗教者としての活動報告」をあげている。また、研修により「日々の宗教活動での信徒対応の質が向上し、檀家や教会員、氏子などとの日常的な関わりの中で、良質なケアを提供できるようになったことが、臨床宗教師研修の意義が認められる部分でもある」と語っている。

### 今後の展望と期待

「臨床宗教師」養成講座を設置する大学が増え、日本各地に活躍の場が広がるなか、2016(平成28)年2月に「臨床宗教師」の資格化に向けた認定機関「日本臨床宗教師会」が発足。各大学の研修を修了した臨床宗教師や心のケアで実績のある宗教者を対象にフLOORアップ研修を実施。資格を付与する予定。統一資格を与えることで社会への信頼を得やすくし、有資格同士の交流、対話のスキルなどの資質

向上を目指している。「多死社会」へ突入した日本社会において、今後ますます「臨床宗教師」の重要性が高まる中、「臨床宗教師」自身がより幅広い分野での役割を見いだし、そのスキルを発揮することが期待されている。

#### <参考資料>

- ◎東北大学文学研究科実践宗教学寄附講座ホームページ  
<http://www2.sal.tohoku.ac.jp/p-religion/2017/index.html>
- ◎東北大学文学研究科実践宗教学寄附講座パンフレット『臨床宗教師とは』
- ◎東北大学文学研究科実践宗教学寄附講座ニュースレター バックナンバー
- ◎『宗務時報』No.117(発行:文化庁文化庁宗務課 2014年3月)  
「宗教者による心のケアの課題と可能性—臨床宗教師養成の試み—」(著:高橋原)

#### <協力・資料提供>

東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄附講座教授 高橋 原さん



本企画で資料提供などのご協力をいただいた東北大学教授 高橋 原さん

# 現代の社会問題に取り組む

## 臨床宗教師 池内 龍太郎さん

臨床宗教師の具体的な活動や役割など、医師・医学博士・労働衛生コンサルタントと多方面で活躍されている平田神社の池内龍太郎さんにお聞きしました。



入院中の方を伺うとき池内さんは、何か繋がりがあるものと「手のひら地蔵」を渡している



臨床宗教師の池内龍太郎さん

誰にも言えないことを話せるのが宗教師

**編集部** 池内さんは東京の平田神社の神職の他に、精神科医・産業医でもいらっしやいます。臨床宗教師になられた動機をお聞かせください。

**池内さん** 精神科医療を行っていて感じていたのは、いくら患者さんの苦しみによき添いたいと思っても、今の医療制度では、十分な時間をかけることは難しい面があるということです。また、人が亡くなる時の深い部分の苦しみや悲しみといった感情へのケアは足りてないとも感じていました。ただ、私の中には、宗教師としての神道があるのです、それをどういった手段で伝えればいいのかと考えていた時に、臨床宗教師の存在を知った

のです。

**編集部** どのようにして臨床宗教師になられたのでしょうか。

**池内さん** 臨床宗教師は、東北で医師をされていた故岡部 健先生の熱意が発端です。看取りの現場には欧米では当たり前に行っているチャプレンのような存在が日本でも必要だという考えから、2008(平成20)年頃から活動がはじまりました。その後、東北大学で臨床宗教師の研修や認定を行うようになり、私は、宗教色のない東北大学で実施されている点に興味を持ち、2年ほど前に研修を受けました。今では宗教系の8つの大学でも行われています。

**編集部** 現在は、臨床宗教師としてどういった活動をされているのかお聞かせください。

**池内さん** 埼玉県にある緩和ケア病棟で、臨床宗教師ボランティアとして活動しています。ですが、臨床宗教師は、臨床の現場に限らず、孤独や社会の問題を抱えている人たちの心のケアもしています。東日本大震災の際は、被災地に行つて話を聞きました。さらに冬にはホームレスのための越冬支援も行っています。また、都営住宅などの独居の高齢者さん

を対象にしたカフェを開き、喫茶形式で相談にのるなど幅広く活動しています。

**編集部** 臨床の現場では、臨床宗教師はどういった役割を期待されているとお考えでしょうか。

**池内さん** 宗教師に共通しているのは、人々にとって誰にも言えなかったことが話せる相手であり、苦しみを分かちあひ、決して見放さない存在だということです。また、それが宗教そのもの本来持っている力であると思いません。死への苦しみだけでなく、社会問題を抱えている人たちに、心から寄り添うことができるのは、そういったベースを持っている臨床宗教師の強みだと思います。

**必要とされているのに足りていない臨床宗教師**

**編集部** 臨床宗教師として感じているしやる課題や問題をお聞かせください。

**池内さん** 一番に思うのは、臨床宗教師が足りていないということです。世の中に臨床宗教師が少しづつ知れ渡り、必要とされているにも関わらず、地方にいっくほど臨床宗教師の数が少なく、対

応できていないことが多々あります。臨床宗教師の養成をしなければいけない反面、質の担保も重要なので、難しいところだと感じています。

**編集部** 最後に、臨床宗教師の今後についてお聞かせください。

**池内さん** 痛みに耐え忍んだほうが何かを見出せる、高みに達するという日本人の精神性が臨死期まであるように感じています。けれど、心の苦しみに対しては、臨床宗教師を頼ってほしいと思います。少しでも心の苦しみや痛みを社会から受け、臨床宗教師という手段があるんだと世の中に認知され、その中で役目を果たしていくのが、今後のあるべき姿だと思います。

<取材協力>

池内 龍太郎さん

平田神社 権禰宜  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-8-10

関東臨床宗教師会 代表  
日本臨床宗教師会 理事  
東京 Café de Monk 代表  
神社神道神職・医師・医学博士  
産業医事務所(株)OHPA 代表取締役  
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2  
東京サンケイビル 27F  
http://ohpa.co.jp/  
TEL: 03-3242-6139



# 臨床宗教師として終末期の人々に寄り添う

## 臨床宗教師 高橋悦堂さん

宮城県で活動をされている  
曹洞宗円通山普門寺の高橋悦堂副住職にお話を伺いました。



信者さんに語りかける高橋副住職



臨床宗教師の高橋悦堂さん

**医療従事者では答えられない  
終末期の人の苦悩に寄り添う**

**編集部** 臨床宗教師としての活動についてお聞かせください。

**高橋さん** 主に自宅で最期を迎えたいというがん患者さんのお宅

に伺い、患者さんのお話を聴いたり、ご家族のお話を聴いたりします。また、地元の病院やデイサービス施設で、患者さんやご家族のお話を聴くこともあります。医療スタッフと協力しながら活動をします。

**編集部** 臨床宗教師になられた動機や経緯をお聞かせください。

**高橋さん** 東日本大震災で被災

した方々の支援を行う中で、宮城県名取市の岡部医院前院長である岡部健先生に出会ったことが始まりです。岡部先生はがん患者の在宅緩和ケアを実践されてきた中で、終末期ケアに宗教者が関わる必要性を実感していました。そこに東日本大震災が起こり、地域の住民が宗教者に話をすることで安心する様子を見て、宗教者の重要性と宗教宗派を超えた宗教者の協力の必要性と可能性を感じたようです。岡部先生は東北大と宮城県の宗教者たちと連携をして、2012(平成24)年に臨床宗教師養成の研修を立ち上げました。津波から患者を救おうとして命を失った岡部医院の看護師のことや、ご自身ががんを患い余命わずかだったことも設立への想いの中にはあったでしょう。そんな中で、私は岡部先生にご自身の最期を看取るよう言われたのです。僧侶は人の生死を語る存在ですが私は亡くなった後にしか関わっていませんでした。人が死んでいく姿を見なくてはいけないのです。それで、岡部先生の看取りに関わり、臨床宗

教師研修第1期を修了し、この活動を始めました。

**編集部** 臨床宗教師になって得

られたことなどはおありですか。

**高橋さん** 岡部先生や多くの患

者さんの看取りに関わり、死はす

べての生命に訪れる普遍的な出

来事であると同時に、1人の人間

が生まれて死んでいくことはとて

も個別で特別なことだと感じま

した。そして死んだ後は心も体も

自然の中に溶け込んでこの自然

と共に巡っているという感覚を持

ちました。葬儀にもこれまで以上

に本気で向き合えるようになり

ました。

**多くの人をケアするため  
宗教者間の壁を低くする**

**編集部** 臨床宗教師の課題や今

後のあり方などをお聞かせくだ

さい。

**高橋さん** 必要としている人に

応えるためには臨床宗教師を広

く周知し啓発しなくてはなりま

せん。このため、臨床宗教師たち

が日本各地で講演などを行って

います。さらに、地域の宗教者と

共に人々に関わるとよいのだと

思います。臨床宗教師は死を目

前にした人に働きかける対症療法のようなものです。一方、地域の宗教者は、生きる上での苦悩への向き合い方や死生観を普段から伝える、予防医療のような役割でしよう。この両方の役割が大切になります。また、若い副住職の方々に臨床宗教師として活動していただければ、住職になった際にその経験を生かせるとも思います。そして、人々のケアに広く関わるためには宗教者の壁を低くする必要があります。我々自身が同級生との交友や子どもとのPTA活動などを通して、宗教者以外の立場から地域の人々と接したり、自分を感じていることを素直に人々に伝えたりする姿勢が大切ではないでしょうか。

<取材協力>

**高橋悦堂さん**

曹洞宗円通山普門寺 副住職

〒987-2308

宮城県栗原市一迫真坂字清水小館 69

TEL: 090-4880-1203

email: tarumitarutarumi@yahoo.co.jp

北海道東北臨床宗教師会 理事

日本臨床宗教師会 会員



1

# 風まかせ 15

野田博明



2



3



4



5

## 三柱鳥居の話が・・・風に吹かれて

三柱鳥居さんすうとりいという謎を秘めた不思議な鳥居がある。そこで、そもそも鳥居とは・・・と考え始めたところで、かねて喉に刺さった小骨のように心に引つかかっていたある疑念が膨らんできた。それはトラーまたは律法と称されるユダヤ教、キリスト教、イスラム教に共通する教典との関わりである。律法とはあまり馴染みのない言葉だが、キリスト教でいう旧約聖書のことだといえ、それならば知っているとつなずく人も多はず。その「出エジプト記」に鳥居の起源ともいべき記述があるのだから、細かいことが気になるタチの筆者である、風まかせよろしく風に吹かれて三柱鳥居の話

はあさつての方角へと飛んでいく。要はこうである。エジプトで奴隷のごとく虐げられていたイスラエルの民（ヤコブの末裔）がモーセに率いられ、故地カナンへと脱出する譚たのなかに重要な舞台装置として鳥居が登場してくるのである。そして、その鳥居に絡む奇妙な物語が我が国の蘇民将来そみんしやうらい伝説に酷似し、何故か鳥居の話が八坂神社の祇園祭と行きついてしまうという話である。

イスラエルの民がエジプトから抜け出すことを頑なに拒むエジプト王ファラオに対し、ヘブライの絶対神ヤハウェは次々と禍事まがことを見舞う。解放の約束を度々反故にするファラオに業を煮やした神が最後の鉄槌を下したのが、初子の災禍さいこという身の毛もよだつ報復劇である。

エジプトの人や家畜の長子を皆殺しにしてしまおうというものが、イスラエルの民を巻き添えにせぬように予め識別の徴しちを論ず。生贄なまげとなす子羊の血をヒソプという薬草にたっぷりつけ、家の門の二本の柱とその鴨居あひらに塗りつけ、一切、その門から出るなど命じたのである。

真夜中になって、ヤハウェはエジプトの闇の空を飛行する。そして赤い門の家だけは過越しあがして、エジプト中の人や家畜の長子を打ち殺したのである。その惨劇に慄おそいたファラオはモーセに急ぎこの地を立ち去るように促した。ようやく解放されたイスラエルの民は神から約束されたカナンかなんの地へ戻ることになる。その故事にちなみ過越しの供儀くぎと名付けられたユダヤ教の重要な祭りが春の季節の一週間、今日まで絶えることなく守り続けられてきた。

さて、目印となった赤く塗られた二本の柱とその上に架けられた横木であるが、その形状は朱色の鳥居そのものである。この鳥居が災禍を免れる徴標しるしであったという点は、我が国の鳥居の内が清浄な神域であり災厄から隔離された空間であるとの約束事と見事に平仄へいそくが合う。しかも、鳥居とりい（oni）はヘブライ語で門扉を意味する「*bor*（タラー）の転訛てんぎであるとの説などは古代史ファンにはあまりに魅惑的に過ぎるのである。

翻ひらって、備後国風土記逸文に王子神社（福山市）の由来を語る「疫隈えいまいの国くにつ社やしろ・蘇民将来」なる一文が伝えられている。そして鎌倉時代の釈日本紀は、「これ則ち祇園社の本縁なり」と当神社が京都の八坂神社（旧名・祇園社）の起源であると注釈している。つまり、八坂神社のご祭神である素戔嗚尊すさのおのみことと八人の御子神が防疫の神と崇められるようになった発端がこの地にあったというわけである。





6



7



8

- 1 木嶋坐天照御魂神社の三柱鳥居
- 2 風の神を祀る龍田大社・両部鳥居
- 3 律法（キリスト教の旧約聖書）
- 4 蘇民将来伝誦縁の王子神社（福山市）
- 5 祇園祭宵山の八坂神社
- 6 祇園祭・長刀鉾が神域に近づく
- 7 月鉾の懸装 ムガル絨毯 前懸・メダリオン中東蓮花葉文様ラホール絨毯
- 8 北観音山（曳山）の胴懸・ムガル絨毯

野田博明（のだ・ひろあき）

昭和26年生まれ。東大卒。日本興業銀行広報部長などを経て、現在、一般社団法人全日本社寺観光連盟理事。平成27年文化庁・官公庁共管の「文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議」、平成29年文化庁の「文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策に関する有識者会議」の委員。



四国霊場 雲辺寺にて

の神は御子神たちを連れ蘇民のもとへ立ち寄った。そして、家族が家にいることを確かめ、腰に茅の輪をつけるようにと告げる。夜が訪れると武塔は神の意志を疎んじた者への報復を開始、蘇民とその娘を除き巨旦や世の人々を皆殺しにした。己の正体を明かした素戔嗚尊は、今後、流行り病など災いが起こるとき蘇民将来の子孫であると宣言し腰に茅の輪をつけよ、さすれば災厄を免れると諭したという譚である。

初子の災禍では護符が血で染めた赤い鳥居であったものが、こちらでは茅の輪に代わっているものの、夜になって荒ぶる神が殲滅の災禍を見舞う内容には驚きを禁じ得ない。鳥居の中に身を隠したヤコブの末裔であるイスラエルの民を除き、エジプトの長子のごとく殺されたのと酷似している。しかも、過越しの供儀のなかに腰に紐を締めよという掟があるが、茅の輪を腰に着けよというお告げまでもが似通っている。さらに蘇民の妻は家族であるのに命を落としている。これは律法・創世記のソドムとゴモラの罪深い町が天から降り注ぐ硫黄の火で全滅する下りにあるアブラハムの甥・ロトと家族の運命そのものなのである。神ヤハウェはロトとその妻、娘たちに生かしてやるから町を出ると告げる。神との約束を守ったロトと娘は生き残り、約束を破った妻は命を失い死海の塩柱となった。おそらく殺された蘇民の妻も尊の怒りに触れる掟破りをしたに違いない。

そんな蘇民将来の話に顕れた素戔嗚尊をご祭神とする京都の八坂神社。過越しの祭りには及ばないが、その創始を千百年前にもとめ、氏子たちが災厄の除去を祈る神事として宮々と守り通してきた祭りこそが京都の夏の風物詩となった祇園祭なのである。

武塔の神の故事に倣い、祭りに参加するものは皆、「蘇民将来子孫也」と墨書された護符を身につけ、7月31日に蘇民将来を祀る境内摂社・疫神社で執り行われる夏越し祭りで茅之輪守と粟餅を社前にて授与し、ひと月にわたる祇園祭の幕が閉じられる。

この手の話は明治時代に日猶同祖論が唱えられて以来、日本人のみならずユダヤ人の一部の人のなかで根強く支持されてきた。北イスラエル国の滅亡とともに二千七百年前に姿を消したイスラエルの「失われた10支族」の一部が日本へ渡ってきたという譚である。かのイザヤ・ベンダサン（山本七平氏）も同祖説を証明したものは全財産を贈るとの遺言を残したユダヤ人の大金持ちが南アフリカにいたとの貴重な情報を与えているほどである。

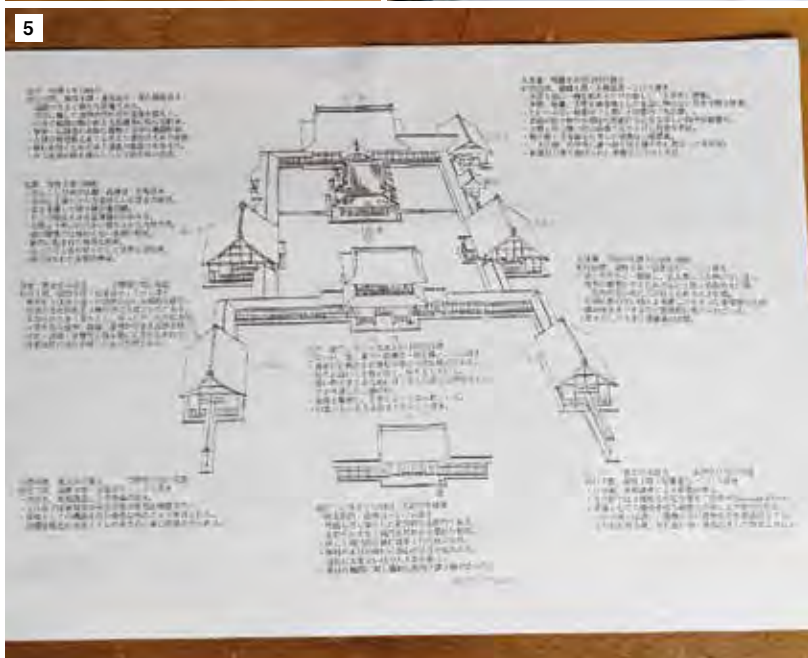
縷々これまで述べてきた日猶文化の相似性を世界広布説話の類と一笑に付すのは簡単である。しかし、その片々が今日まで延々と祭りや習俗として現実に継承されていることは、一面、そうした精神文化を宿す民が確かにこの地にやって来て、供儀の掟を守りながら生き永らえてきたことの証であるともいえる。

祇園祭の山鉾を絢爛に飾る懸装品のなかに世界に数点しかない幻の絨毯を含め三十余品におよぶムガル・イスラム王朝やペルシャ最盛期の絨毯・タペストリーの逸品が室町や江戸時代から使用されていることを知る人は少ない。なぜ、世界の垂涎的となる幻のイスラムの織物がかくも多数、極東の地に、しかも祇園祭という厄除け神事に集結したのか、ある強い歴史の意志が感じられてならない。ヘブライ語でミ・ガド（Mi Gado）は偉大な者という意味だそう。我が国の偉大な方とはミカドのことである。そして10支族のうち日本に渡ってきたのがガド族といわれていることも付言しておく。

三柱鳥居は次回のテーマに譲るが、日猶同祖論の真偽は風まかせならぬ、蒸し暑い夜風に抱かれて、京の夜空の闇の中へ姿を溶かし、韜晦を決め込んでいるのに違いない。



文化財保護を手掛けて40年  
価値を見出し、往時の姿を後世に



1. インタビューにこたえる上野さん
- 2.3.4. 上野さんが、最近関わった調査・修復の数々。年間約20件をこなす
2. 妙成寺旧客殿 復元模型
3. 旧伏木測候所 復元図面
4. 富山市下轡田八幡宮実績報告書・工事写真
5. 瑞龍寺の今後復元を目指す図面
6. 瑞龍寺の復元図面などをCGで再現し編集したDVD



職藝学院  
教授・名匠情報センター所長  
(一社)日本伝統職人技術文化研究会理事長  
上野幸夫  
〒930-1298  
富山県富山市東黒牧298  
TEL076-483-8228  
<http://www.shokugei.ac.jp>

文化庁の外郭団体、財団法人文化財建造物保存技術協会（会員で、国内外で約100棟の文化財保護に携ってきた上野幸夫さん。文化庁から富山県高岡市にある瑞龍寺の調査を依頼された。初めて見たそれは荒れ果て、地元ですら知名度のない寺。しかし、一目見て凄く建造物だと直感したという。調査は発見に次ぐ発見の連続。床下や小屋裏から見つけた切り刻まれた材料の傷跡や腐食の違い等、わずかな手がかりをパズルのように組み合わせながら作業を進め、スタートから10年、現在の姿にまで復元した。そして、その価値の高さから1997（平成9）年、瑞龍寺は富山県で唯一の国宝に指定される。今後は、七堂伽藍の足に当たる七間浄土と浴室の完成を目指していく。

この復元を機に富山に留まった上野さん。今は職藝学院で職人育成に力を入れ、学生と県内の価値ある建造物や街並み保存とその啓蒙にも尽力している。「価値を知らずに壊される民家や街並み。古くなり手を加えられる神社仏閣。どうかその価値を知り、いいものは復元して欲しい」と語る。地道な調査、物的証拠を見つけ修理や復元していく作業は推理小説の謎解きに似て楽しいとも。上野さんの活動はこれからも続く。



寺社のみなさまのご要望にお応えして  
広報活動をお手伝いします

# プレスリリース(広報用資料)を受け付けしています!

- 特別拝観や催し事(イベント含む)の開催
- 一般の方々に告知したい取り組み
- 他の寺社に告知したい取り組み
- 組織・人事の異動
- 新しい試み・事業
- 宿坊情報の掲載

など、貴寺社の情報を当協会までお送りください。

情報誌・ウェブ版「寺社Now」、  
宿坊ポータルサイト「和空」、SNS、  
関連ウェブメディアに記事が無償で掲載いたします!

なお、諸事情で掲載ができない場合もございます。あらかじめご了承ください。



http://wa-qoo.com



http://jisya-now.com/

ウェブ10万PV※  
Facebook5万いいね!※  
雑誌発行部数  
3万部で発信!

※グループ合計

プレスリリースの資料や写真を下記までお送りください

※当協会から確認のご連絡をする場合がございますので、ご担当者のお名前、電話番号などの連絡先を必ずご明記願います。



郵便・宅配便で送付

一般社団法人 全国寺社観光協会 本部事務局  
〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-13 9F TEL:06-6360-9838



e-mail で送信

info@jisya-kk.jp  
※件名にプレスリリースとご明記ください

## バックナンバーのご案内

寺社の「いま」を伝える情報誌「寺社Now」は、全国の寺社に無償でお届けしています。



vol.11

◆巻頭特集  
登録有形文化財建造物制度

◆クローズアップ  
臨濟宗大本山天龍寺  
塔頭 永明院 住職  
國友憲昭



vol.12

◆巻頭特集  
文化財保護と観光支援における助  
成金と補助制度

◆クローズアップ  
法相宗大本山 薬師寺 管主  
村上太胤



vol.13

◆巻頭特集  
MICE 誘致拡大に向けた社寺の取  
り組み

◆インタビュー  
河内國一之宮 校岡神社 宮司  
中東弘



vol.14

◆特別対談企画  
公益財団法人徳川記念財団理事  
徳川家広  
和宗総本山四天王寺 山岡武明  
和宗総本山四天王寺 総務部参詣  
課信徒係主任 瀧藤康教  
◆編集企画  
高齢化社会に向けた社寺のバリア  
フリーの取り組み

次号は  
9月発行の  
予定です。

監修

一般社団法人 全日本社寺観光連盟

発行人

一般社団法人 全国寺社観光協会

編集・制作協力

株式会社 関西ぼど

発行所

一般社団法人 全国寺社観光協会  
(事務局)  
〒530-0044  
大阪府大阪市北区東天満1丁目11番13号  
AXIS 南森ビル 9F  
Tel:06-6360-9838 Fax:06-6360-9848

寺社NOW

第1巻第15号 平成29年7月発行

本誌の表紙、記事、写真、イラストはすべて著作権法で保護されています。  
本誌の許諾なしに複写(コピー)したり、印刷物やインターネットのWEBサイト、メール等に転載したりすることは違法となります。

バックナンバーはWEBでもご覧いただけます。

jisya-now.com または

寺社NOW

検索

本誌の記事に関するお問合せは  
右記にお寄せください。

一般社団法人 全国寺社観光協会 本部事務局  
〒530-0044 大阪市北区東天満 1-11-13 9F  
TEL: 06-6360-9838 FAX: 06-6360-9848 e-mail: info@jisya-kk.jp

より良い誌面作りのため、寺社の皆様の貴重なご意見をお聞かせください！

# 寺社Now 誌面アンケート

「寺社Now」ではより良い誌面をつくるために誌面についてのアンケートを実施しております。下記のアンケートの□内には✓を、( )内にはご記入をいただき、下記まで本紙をファックスにてお送り願います。

## Q1. 所属

寺院 神社

## Q2. 今号で面白かった記事はどれですか(複数回答可) ※丸数字に○を記入

①巻頭特集:開かれた寺づくりで信仰、観光、自然の未来をつくる 宮島弥山 大本山大聖院 吉田正裕 座主 ②寺社の夏の行事お役立ち環境対策機器 ③トピックス:全国どこでも使える災害救援アプリ ④うちのお宝:圓龍寺 薬師如来像と十二神将立像/日吉山王神社 日吉山王神社本殿 ⑤クローズアップ:老朽化・耐震性の問題を有す「御堂会館」新たな時代にマッチした“伝道会館”へ 真宗大谷派 難波別院 宮浦一郎輪番 ⑥Pick Up:「フェリシモおてらぶ」で寺との“縁”をつなぐ ⑦SCOPE:全日本社寺観光連盟 外国人インターンメンバー紹介 外国人ならではの目線で社寺の魅力再発掘!! ⑧行政・観光レポート:茨城大学と県国際観光課が連携 留学生による「茨城の魅力発見ツアー」で社寺が人気 ⑨EVENT REPORT:三宝院門跡大峯山花供入峰 大阪~奈良の街中を行く山伏たち 地域とのつながりで、復活から続いた1世紀 ⑩「臨床宗教師」宗教宗派の枠を超え終末期の患者の心をケアする宗教者 池内龍太郎/高橋悦堂 ⑪野田博明 風まかせ:「三柱鳥居の話が・・・風に吹かれて」 ⑫職人技:職藝学院教授 上野幸夫

## Q3. 以下の項目で、寺社の取り組みの事例として知りたいものはどれですか(複数回答可)

観光 外国人対応 宿坊新規開設・運営 寺社イベント 広報 地域振興 結婚式 後継者育成 土地活用  
その他 (ご記入ください: )

## Q4. 今号の記事、広告を見て実際に問い合わせた、もしくは興味を持った内容があれば教えてください。

広告を見て問い合わせた、あるいは興味を持ったところの会社・団体名: )

## Q5. 以下の項目で、知りたい企業サービスはどれですか(複数回答可) ※丸数字に○を記入

①ホームページ ②SNS運用代行 ③アプリ開発 ④告知ツール制作(掲示物・ダイレクトメール・冊子・チラシなど)  
⑤フリーWiFi ⑥自販機設置 ⑦喫煙所設置 ⑧清掃 ⑨老朽化・耐震対策 ⑩警備 ⑪保険 ⑫介護施設  
⑬託児所 ⑭土地活用 ⑮資産運用 ⑯税金対策  
⑰その他 (ご記入ください: )

## Q6. 寺社Nowへのご要望・ご感想など

(ご記入ください: )

寺社Nowのバックナンバーおよび、寺社Nowの継続購読をご希望の場合は、下記の内容をご記入の上(□内✓をお願いします)、FAX送信してください。

<input type="checkbox"/> バックナンバー希望	ご希望のバックナンバーの号数に○をご記入ください ※複数可	<input type="checkbox"/> 継続購読希望
( Vol. 1	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 )	

寺社名		氏名	
ご住所	〒		
お電話番号			

< FAX > 06-6360-9848

【個人情報の取り扱いについて】  
ご記入いただいた個人情報は寺社Nowや同誌バックナンバーの発送および全国寺社観光協会からのご連絡以外には使用しません。

キ  
リ  
ト  
リ  
線





感動のそばに、いつも。



人をつなぐ、笑顔をつなぐ。  
JTBは地球を舞台に、  
あらゆる交流を創造し続けます。





# 挑戦の 数だけ、 保険が ある。

保険は、冒険から生まれた。  
大航海という挑戦を助けるために、  
勇気をつくるために、  
保険は生まれた。

さあ、挑戦しよう。  
人は何かを始めることで前へ進み、  
世界は新しく変わってゆく。  
不安も、きっとあるだろう。  
でもそれは、分かち合うことで軽くなる。

世の中には2種類の人がいる。  
挑戦する人、しない人。  
充実した人生を送るのは、  
どちらの人だろう。  
人から愛され尊敬されるのは、  
どちらの人だろう。  
世の中を変えていくのは、  
どちらの人だろう。

私たちはすべての挑戦を応援します。

To Be a Good Company  
東京海上日動



JOCゴールドパートナー(損害保険)